



「1985年度千葉局経営計画」を提案

取場実態・運転保安無視で、ただだ要員削減・労働強化のみ追求



85. 5. 18

No. 1941

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五（六）（公衆）〇四七二（二二）七二〇七



五月十五日、千葉鉄当局は「一九八五年度経営計画」の提案を行った。提案は「分割・民営化」が正念場を迎えるなかで確固とした将来展望を示せぬばかりか、「余剰人員対策」をはじめ、さらなる効率化―合理化の実施のみ強調したものととなっている。動労千葉は、労働者の生きていく権利すら奪いとりとうとする「経営計画」に抗議し「余剰人員」問題の解決、運転保安の確立、合理化計画の撤回を要求した。



「一九八五年度経営計画」

「一九八五年度経営計画」における「今後の旅客輸送体系ビジョン」と「合理化計画の概要」については次のとおりである。

今後の旅客輸送体系ビジョン

| 1988年度以降 | 1986・1987年度 | 1985年度 |
|---|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 京葉線全線開業 茂原駅ホーム増 在来線成田空港アクセス 駅舎改築（物井・姉ヶ崎・袖ヶ浦） | <ul style="list-style-type: none"> 外房線新茂原・上総一ノ宮間複線化 茂原付近連続立交 駅舎改築（鎌取・土気・佐倉） | <ul style="list-style-type: none"> 京葉線部分開業 成田線佐倉・成田間複線化 千葉駅改良 |
| <ul style="list-style-type: none"> 京葉線東京乗入れに伴う各線区のダイヤ調整 成田快速空港乗入れ | <ul style="list-style-type: none"> 京葉線部分開業に伴う総武緩行線のダイヤ調整 | <ul style="list-style-type: none"> 京葉線部分開業に伴う総武緩行線のダイヤ調整 |
| 快速増発、主要線区の通勤混雑緩和、ダイヤタイムフリーセントサービス | | |

主な合理化計画の概要

| 営業関係 | 項目 | 概要 |
|---|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 要員運用合理化 設備改良 | <ul style="list-style-type: none"> 営業体制近代化 | <ul style="list-style-type: none"> 出札機器投入による出札体制の見直し 荷物営業体制の見直し |
| <ul style="list-style-type: none"> 要員運用合理化 設備改良 | <ul style="list-style-type: none"> 要員運用合理化 | <ul style="list-style-type: none"> 勤務実態を勘案することによる関係要員見直し 駅設備改良に伴う関係要員見直し |

| その他 | 施設 | 運 転 | 関 係 |
|---|---|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 情報システム、管理部門の要員見直し | <ul style="list-style-type: none"> 保守体制の近代化 | <ul style="list-style-type: none"> 乗務員運用の適正化 | <ul style="list-style-type: none"> 要員運用合理化 新しい車両の検査方式 |
| | <ul style="list-style-type: none"> 保線・土木関係業務の改善に伴う関係要員の見直し | <ul style="list-style-type: none"> 輸送改善に伴う乗務員運用の見直し | <ul style="list-style-type: none"> 業務実態等を勘案することによる関係要員の見直し 車両検査周期の延伸及び検査体系の変更等に伴う関係要員の見直し 乗務能力の向上 |

※ 合理化による要員削減数
営業一四〇名、運転一三〇名、施設一五〇名、その他二〇名

労働者を犠牲にする「経営計画」を許すな

提案に対し、動労千葉からは第一に、「余剰人員対策」の強行等、国鉄で働くことへの不安感を解消する明確な展望を示せ、第二に、「安全の確保」について精神的なものでなく内容の整ったものとして提案すべきだ、第三に、「60・3」以降大変な労働強化等、見直しが必要であるにもかかわらず、さらに合理化を実施せんとする当局姿勢は問題だ、第四に、雇用は当局の責任において守るべき、との意見が出された。

これに対して当局は、「国鉄をとりまく厳しい情勢の中で、効率的な経営をめざして色々施策をすすめたいので協力されたい」と繰り返すのみであった。

動労千葉は、労働者への犠牲をおしつける「経営計画」にはあくまで反対する立場を明らかにし、交渉を打ち切った。